



浜松市美術館 展覧会・作品解説

教科[図工・美術・総合的な学習の時間] 学年[幼・小・中・高]

講座時間[30分] 実施場所[浜松市美術館]



内容

美術館で本物の作品にふれる体験（作品解説、見どころ紹介、対話型鑑賞）を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる態度を養い豊かな情操を培います。

- ・学芸員（指導主事）が、校種や学年に応じて解説します。
- ・年間3つの特別展や企画展のほか所蔵品展、市展、子どもの市展、浜松市とスイスベルンの絵画交流展等を行っています。
- ・所蔵品の展示は、所蔵品展以外では行っておりません。（常時展示は行っていません。）

備考

- ・事前に電話での連絡をお願いします。
- ・幼稚園は無料、小学生は、キッズパスポート提示にて無料です。なお、中学生は事前に電話での連絡後こちらから送信した教育特別優待申請書を提出することで無料となります。高校生は、有料です。
- ・引率の教員は減免の対象となり無料で入館できます。
- ・美術館職員の都合により、自由に鑑賞いただく場合もございます。

団体紹介

浜松市美術館は、市制60年を記念し、昭和46年7月、県内初の公立美術館として浜松城公園内に開館しました。収蔵品の特色として内田コレクションを基礎とする18～19世紀の伝統的ガラス絵は、民衆の絵画（民画）の代表的なものを所蔵しており、西洋・中国、日本と系統的に現代までの歴史をたどることができます。他に民画として、泥絵や「鬼の念仏」など大津絵の優品もあります。また、初代広重、葛飾北斎、歌川派などによる遠江ゆかりの浮世絵絵画、中国・高麗・李朝にわたる東洋陶磁、東洋の石仏・金銅仏は、民画とともにコレクションの中心をなしています。このほか北川民治や野島青茲、中村宏ら静岡県出身の作家の作品、津田清楓の晩年の書画をはじめ日本の近代絵画や現代絵画や現代版画なども収蔵されています。

お問い合わせは

浜松市教育委員会教育総務課まで 電話 053-457-2401